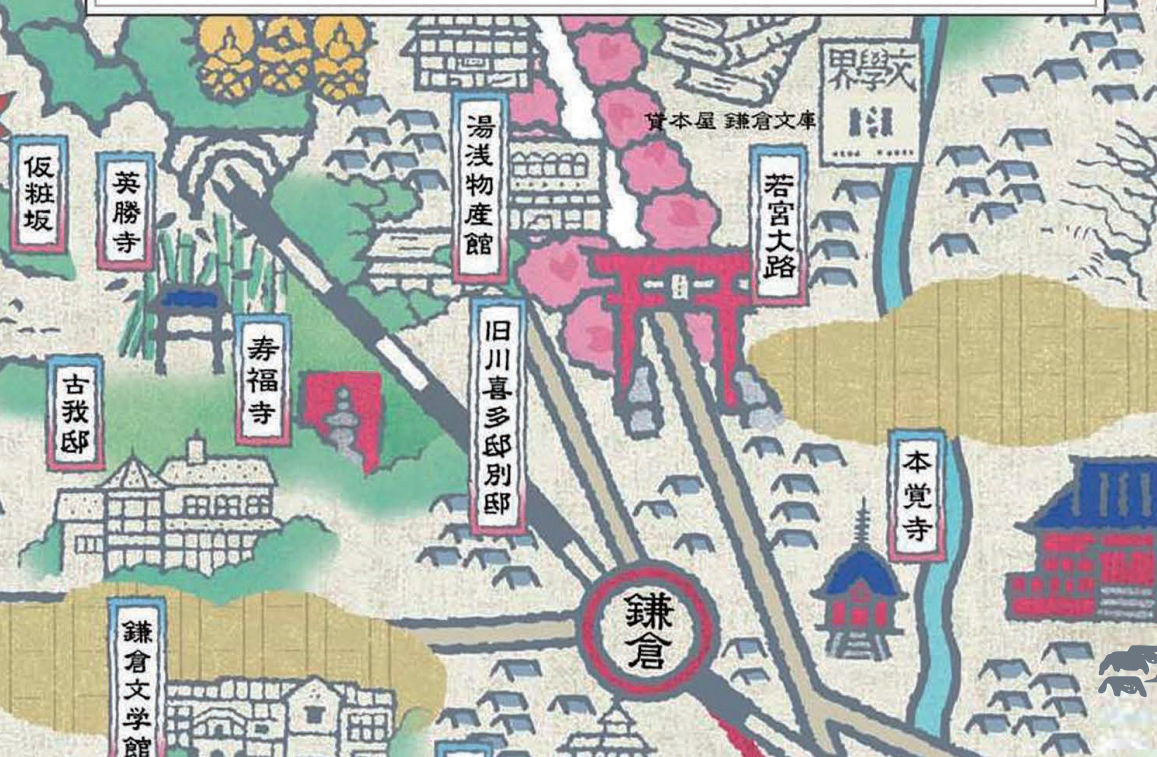




日本遺産

「いざ、鎌倉」

～歴史と文化が描く
モザイク画のまちへ～



Contents & History

538 仏教が日本に伝わる

710 平城京に都を遷す

794 平安京に都を遷す

1180 源頼朝が鎌倉に入る

1185 頼朝が全国に守護・地頭をおく 壇ノ浦の戦い(平氏の滅亡)

1189 頼朝が奥州で源義経を討つ

1192 頼朝が征夷大將軍となる

1199 頼朝が53歳で亡くなる

「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

鎌倉という土地の歴史の始まりは、はるか遠く旧石器時代にまで遡ります。独自の美意識や文化を色濃くしていったのは、源頼朝によって武家政権が誕生した鎌倉時代。その後、江戸時代には江戸庶民が社寺を訪れるようになり、明治時代の文明開化を経て、近代には文士たちが集う文壇の中心地としてのイメージを根付かせていきました。今、鎌倉の地図には、さまざま

1203 源実朝が3代將軍となる

1219 実朝が暗殺され、源氏將軍が3代で絶え
藤原三寅(頼経)が鎌倉殿になる

1221 承久の乱に勝利した幕府が権力を確立する

1232 北条泰時が御成敗式目を制定する

1219 成就院(じよ)

1235 明王院(みょう)

1241 朝夷奈切通(あさい)

1243 光明寺(こうみょうじ)

1251 浄光明寺(じょうこうみょうじ)

1252 鎌倉大仏(銅造阿弥陀如来)

1253 建長寺(けんちょうじ)

1253 安国論寺(あんこくろんじ)

1259 極楽寺(ごくらくじ)

1274 文永の役(元寇)

1281 弘安の役(元寇)

1260 妙本寺(みょうほんじ)

1281 浄智寺(じょうちじ)

1282 円覚寺(えんがくじ)

	734 ^(伝) 杉本寺(すぎもとでら)	05
	736 ^(伝) 長谷寺(はせでら)	06
	御霊神社(ごりょうじんじゃ)	06
	1104 荏柄天神社(えがらてんじんしゃ)	09
	1180 鶴岡八幡宮(つるがおかはちまんぐう)	10
	1182 若宮大路(わかみやおおじ)	10
	1185 小動神社(こゆるぎじんじゃ)	13
	1185 銭洗弁財天宇賀福神社(ぜにあらいべんざいてんうがふくじんじゃ)	13
	1188 浄妙寺(じょうみょうじ)	13
	法華堂跡(源頼朝墓・北条義時墓) <small>(ほっけどうあと(みなもとのよりとものはか・ほうじょうよしときはか))</small>	14
	1192 永福寺跡(ようふくじあと)	15
	1200 寿福寺(じゅふくじ)	15

な時代を象徴する史跡や社寺が、モザイクのパーツのようにちりばめられています。これらをひとつの「点」としてではなく、歴史という連続した「面」から眺めてみると、幾重にも層をなすこの土地の時間の厚みを感じ取ることができます。本書は、日本遺産として登録された有形・無形の文化資産を紹介します。ここに記したさまざまなエピソードに触れるうち、時を超えて物語の中へと入り込むような、立体的な体験を味わうことができます。

うじゅいん)	16
おういん)	16
なきりどおし)	17
	17
	19
坐像)(かまくらだいぶつ(どうぞうあみだによらいざぞう))	21
	21
	19
	20
	20
	23
	22

QRコードでMapを見る

日本遺産に登録された「構成文化財」を時代ごとに紹介します。
各ページにあるQRコードを読み取るとMapが開き、
あなたを目的地まで誘導。まさに時空を歩くガイドブックです。



1318 ごだいごてんのう 後醍醐天皇が即位

1333 鎌倉幕府が滅びる

1338 あしかがたかうじ 足利尊氏、征夷大将軍となる

1349 鎌倉公方、関東支配

1600 関ヶ原の戦い

1853 ペリー来航

1867 大政奉還

1868 江戸城開城・明治維新

鎌倉の「日本遺産」

「日本遺産」とは、日本各地に存在する有形・無形の文化財を、その地域の歴史的なストーリーにからめて認知を広めるべく、2015（平成27）年度より文化庁がスタートさせた認定制度。鎌倉市は、歴史的遺産と自然、文化とが調和したまちとして、2016（平成28）年度にこの認定を受けました。鶴岡八幡宮をはじめ、歴史のある神社仏閣を多く残す古都鎌倉のノスタルジックな

1887 日本初のサナトリウム「海濱院」ができる

1889 横須賀線開通

1914 第一次世界大戦

1923 関東大震災

1934 第1回鎌倉カーニバル開催

1939 第二次世界大戦

1945 貸本屋 鎌倉文庫開店

1946 鎌倉アカデミア開校

1964 おやつ そうどう 御谷騒動

1966 古都保存法制定

1908 旧諸戸

1916 古我邸（こ

1918 神霊教鎌倉鎌

1926 石川邸（旧里見淳

1927 三河屋本店（みかわやほ

1929 榑亭（らいてい）

1929 旧華頂宮邸（きゅうかちょうの

1929 扇湖山荘（せんこさんそう）

1936 鎌倉文学館（旧前田家鎌倉別邸）

1936 湯浅物産館（ゆあさぶつさんかん）

1938 ぼんぼり（雪洞）祭（ぼんぼりまつり）

1951 旧神奈川県立近代美術館鎌倉館本館（きゅ

1961 旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）（きゅうかわきたてい

1962 吉屋信子記念館（よしやのぶこきねんかん）

	1285	東慶寺(とうけいじ)	23
	1296	覚園寺(かくおんじ)	24
	1327	瑞泉寺(ずいせんじ)	24
		大町釈迦堂口遺跡(おおまちしゃかどうぐちいせき)	24
	1334	報国寺(ほうこくじ)	25
	1335	宝戒寺(ほうかいじ)	25
	1380	明月院(めいげついん)	28
	1436	本覚寺(ほんがくじ)	28
	1636	英勝寺(えいしょうじ)	30
	1869	鎌倉宮(かまくらぐう)	31

雰囲気の中に、時代々々に刻まれてきた建築や土木遺構、鎌倉文士らが残した芸術文化、生業や行事などがモザイク画のように組み合わせられています。今の鎌倉が織りなすまちの情景とともに、その一つひとつのストーリーをたどると、「日本遺産」と呼ぶにふさわしい奥行きのある豊かな表情が浮かび上がります。

邸(きゅうもろとてい)	33
がてい)	33
成場靈源閣(旧山本条太郎邸) <small>(しんれいきょうかまくられんせいじょうれいげんかく きゅうやまもとじょうたろうてい)</small>	34
邸(いしかわてい(きゅうさとみとんてい))	34
んてん)	35
	36
みやてい)	36
	37
(かまくらぶんがくかん(きゅうまえだけかまくらべってい))	38
	39
	40
うかながわけんりつきんだいびじゅつかんかまくらかんほんかん)	11
べってい(きゅうわつじてい))	41
	42